

## 1 都市の将来像

### (1) 将来都市像

都市計画マスタープランの将来都市像については、都市づくりの課題等を踏まえ、協働のまちづくりの基本としつつ、持続可能な市の発展を目指し、次のように設定します。

**(案) まちがつながる 未来へつながる 住みやすいまち 泉南**

(将来像に込めた思い)

都市計画マスタープランの将来像については、定住人口の維持をめざす「第 6 次泉南市総合計画」との整合を図り、まちのつながりや市民のつながりを高めることで、泉南市の魅力を未来へつなげる住みやすいまちづくりに取り組んでいきます。

また、この将来像を市民と共有し、市民と行政が協力しながら、持続発展可能な泉南市のまちづくりを実現していきます。



将来像のイメージ写真

### (2) 都市づくりの目標

#### 1) 都市づくりの基本的な考え方

本市の人口は、平成 17 年(2005 年)をピークに減少に転じ、その後減少傾向は加速化しています。このような状況下で、これからもまちの活力や賑わいを維持・創出していくためには、とりわけ生産力及び担税力のある生産年齢人口の減少を緩やかにし、定住人口の維持に努めていくことが肝要です。

こうした認識のもと、定住化を促進するためには、本市の豊かな独自性を発揮した都市づくり、市民協働による身近な地域づくり、地域資源を活かした活力あるまちづくりの展開に取り組む必要があります。このため、本市においては、将来都市像を実現していくため、次のような目標を設定します。

## 2)都市づくりの目標

### ①泉南市らしい魅力ある都市づくり

#### ・豊かな自然と調和した環境にやさしい都市づくり

本市の魅力である水と花とみどり豊かな自然環境を守り育てるとともに、環境への負荷を低減するなど、脱炭素に資する都市づくりを目指します。

#### ・熊野街道や海会寺跡等の地域資源を活かした都市づくり

本市の風土に培われた熊野街道等の旧街道や海会寺跡等の歴史的資源を活かした個性豊かな都市づくりを目指します。

#### ・泉南市らしい景観を創造する都市づくり

自然景観や歴史景観をはじめ、これらと調和した市街地景観の形成など、「泉南市らしさ」を醸し出す魅力のある景観の都市づくりを目指します。

### ②定住性の高い安心・快適な都市づくり

#### ・公共交通や徒歩等で移動がしやすい都市づくり

市民の協力を得ながら、安全で快適な幹線道路や生活道路等を確保し、市民を支える公共交通の利便性を高めるなど、公共交通や徒歩・自転車等で誰もが移動のしやすい都市づくりを目指します。

#### ・質の高い生活環境が確保された都市づくり

地域の意見等を反映しながら、公園、下水道などの生活基盤施設を確保するなど、質の高い生活環境が確保された都市づくりを目指します。

#### ・安全に暮らせる都市づくり

災害や犯罪の防止につながる地域力を高めるとともに、防災・犯罪対策を推進し、市民が安全に暮らせる都市づくりを目指します。

### ③地域の活性化に向けた持続可能な都市づくり

#### ・賑わいのある持続可能な都市づくり

南海樽井駅周辺と JR 和泉砂川駅周辺の中心拠点における多様な都市機能の集積・強化とともに、南海岡田浦駅周辺と JR 新家駅周辺の地域拠点における日常の生活利便機能等の強化など、便利で賑わいのある都市づくりを目指します。また、市役所周辺の多機能複合拠点における商業業務や行政サービス機能等の都市機能の集積を目指します。

#### ・地域経済や定住化を支える産業が発展する都市づくり

りんくうタウンにおける産業基盤の確保や市街地内における住環境と操業環境の共存等により、地域経済の安定と定住化を促す産業が発展する都市づくりを目指します。

#### ・市街化調整区域の特性を活かした都市づくり

農業・漁業の振興を図るとともに、市街化調整区域において、広域幹線道路等の沿道機能や交通結節機能を活用し、交流や産業機能を高めていくなど、人やモノの交流が豊かな都市づくりを目指します。

#### ④公民連携・広域連携の都市づくり

泉南市に関わる市民等や事業者等の多様な主体が、それぞれの役割と責務を認識・尊重しながら、都市づくりに取組むとともに、日常生活圏の拡大や観光・交流の広域化に対応した周辺市町との連携など、公民連携・広域連携の都市づくりを目指します。

**(案)まちがつながる 未来へつながる 住みやすいまち 泉南**



#### ①泉南市らしい魅力ある都市づくり

- ・豊かな自然と調和した環境にやさしい都市づくり
- ・熊野街道等の地域資源を活かした都市づくり
- ・泉南市らしい景観を創造する都市づくり

#### ②定住性の高い安心・快適な都市づくり

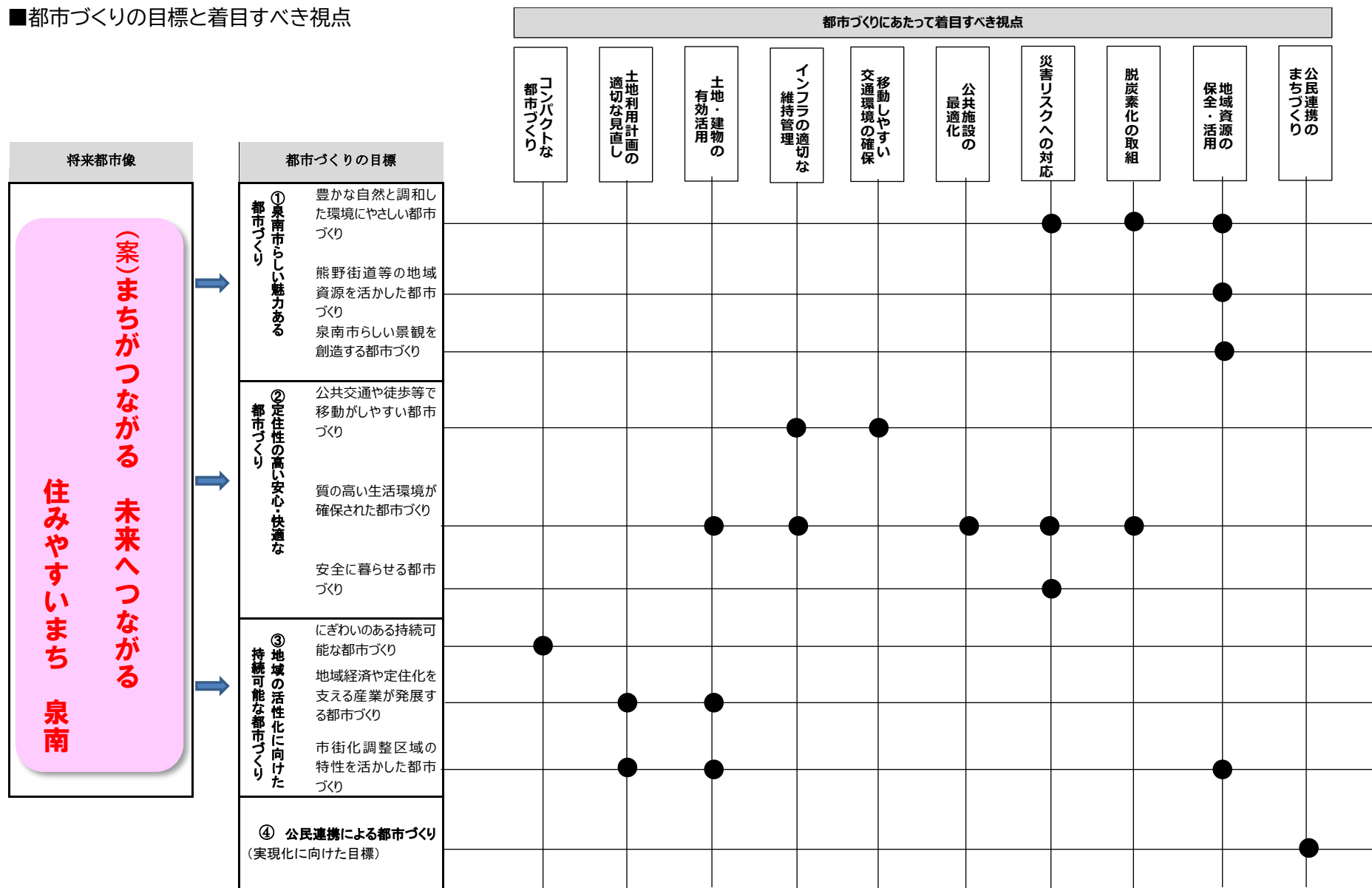
- ・公共交通や徒歩等で移動がしやすい都市づくり
- ・質の高い生活環境が確保された都市づくり
- ・安全に暮らせる都市づくり

#### ③地域の活性化に向けた持続可能な都市づくり

- ・賑わいのある持続可能な都市づくり
- ・地域経済や定住化を支える産業が発展する都市づくり
- ・市街化調整区域の特性を活かした都市づくり

#### ④公民連携・広域連携の都市づくり

## ■都市づくりの目標と着目すべき視点

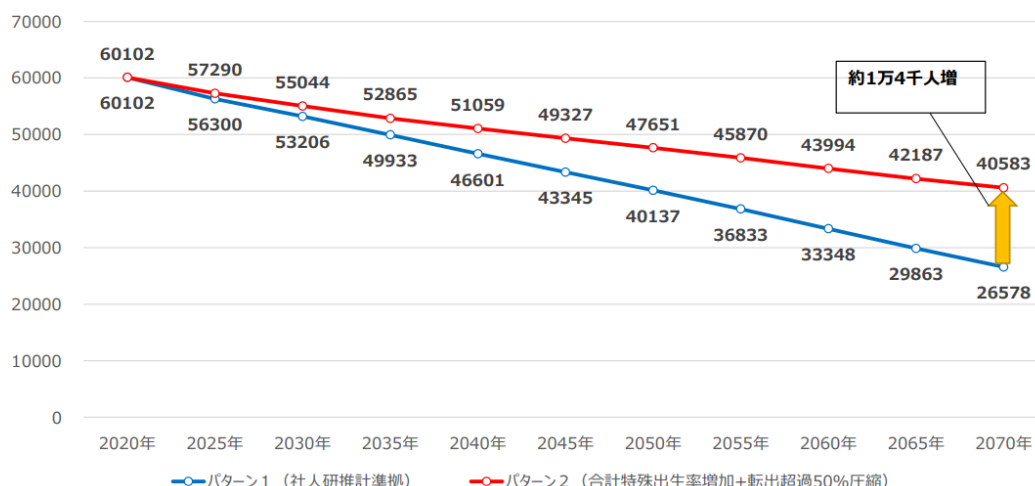


### (3)将来人口の推計

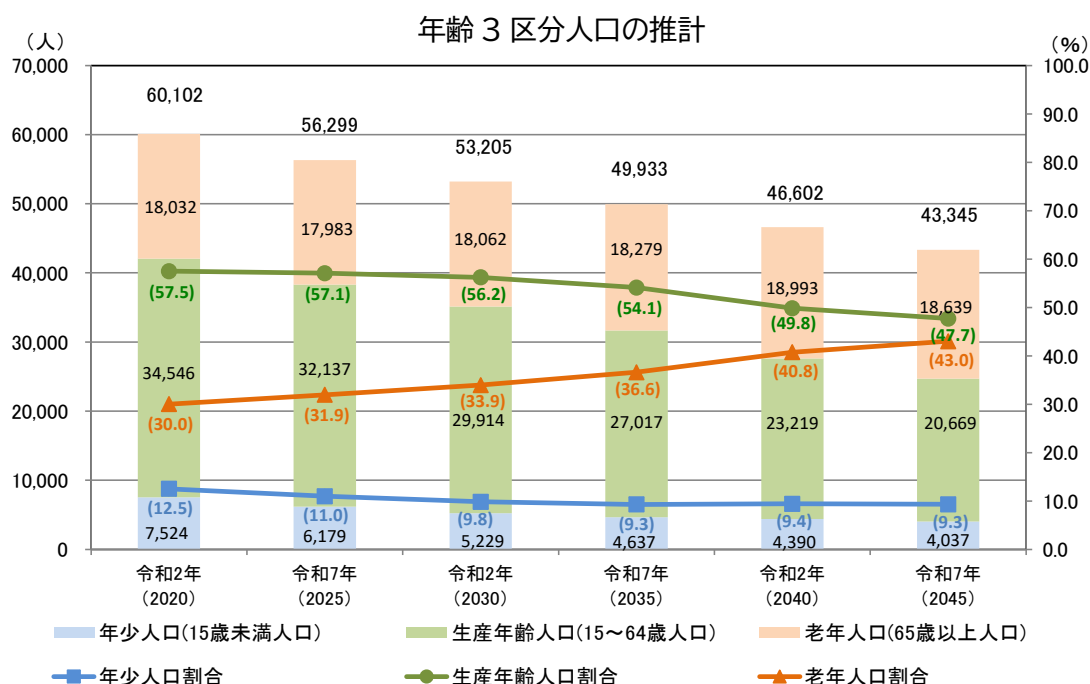
将来人口の推計は、国立社会保障・人口問題研究所による推計人口(令和 5(2023)年推計)に基づき、令和 17(2035)年で約 50,000 人と予測されています。

今後は、本市への転入促進と東京首都圏や大阪都市部周辺への転出抑制による転出超過を毎年 50%圧縮させることで、推計人口の維持に努めるものとします。また、市内で働く機会を増やすとともに、観光・交流機能の充実などによって更なる交流人口・関係人口を生み出し、多様な人びとで賑わう活力ある泉南市を創造していきます。

- 本市の推計では、このまま人口が推移すると、2070年には26,578人まで減少することが見込まれている(2020年に比べ▲65.8%)。
- これに対して、仮に、合計特殊出生率の増加(2030年に1.76、2040年に2.07まで回復)と本市への転入促進や東京首都圏・大阪都心部周辺への転出抑制をすることによる転出超過を毎年50%圧縮させることを前提とすると、本市の総人口は当初推計よりも約1万4千人の人口減少を抑制することができると見込まれる。



資料：泉南市未来都市創生総合戦略(素案)



資料：国立社会保障・人口問題研究所(令和 5 年推計)